

## 令和6年度第2回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

### 1 目的と狙い

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域で御活躍いただくことを目指しています。

### 2 実施にあたって

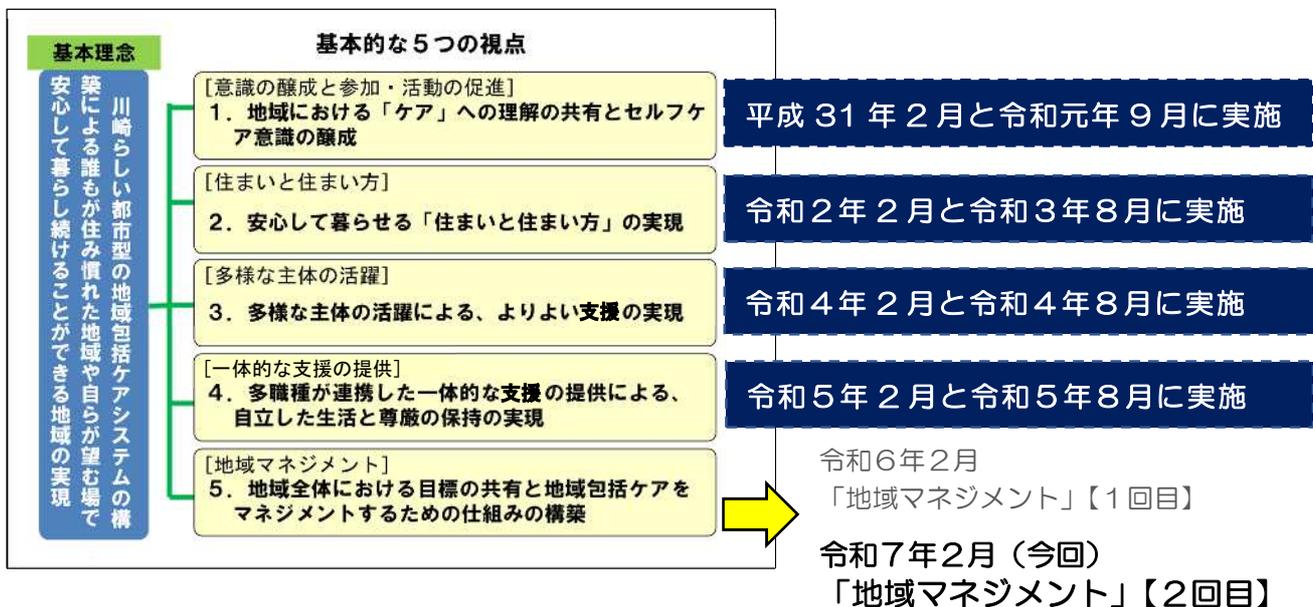
(1) ディスカッションテーマに対する「考え方・視点」や「意見」の集約を行います  
自らが地域包括ケアシステムの担い手として、「考え方・視点」や「意見」を出し合います。

(2) 参加者による「全員参加型」で行います

専門職団体、企業、大学、住民団体等、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合います。

### 3 テーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考に、設定することとします。



地域マネジメントとは…主に行政に期待される役割で、地域の目標を全体で共有しながら個々の活動が1つの目標に向かって機能するための仕組みを構築すること。  
 なお、具体的な目標を検討する際は、地域住民の声やデータ等に基づいた客観的な事実を把握するとともに、その情報を地域全体で共有することで共通認識の醸成につなげる必要がある。

(今回話し合うテーマ)

## 「持っている資源を活用し、集いの場の立ち上げに協力しよう。」

前回のグループディスカッションでは、川崎市のある「まち」を題材に、住民等が考える課題や地図から読み取れる情報、人口・世帯数などのデータを基に、どのような資源（場所、活動、サービス等）があれば安心して暮らし続けることができるかを住民の視点で考えていただきました。

その結果、あるといい資源として、全てのグループから「多世代交流」「趣味」などをテーマとした「集いの場」が挙げられましたが、現実には多くの要望や賛同があってもすぐに「場」や「活動」を立ち上げることは難しく、そこには少なからず課題が存在するはずで。

そこで今回は、ある「集いの場」を立ち上げるに当たり考えられるいくつかの課題について、各企業・団体が持っている**資源**(※)を出し、立ち上げや運営につなげる方法を考えます。

### 集いの場の概要(イメージ)

開催日：(毎週)水曜日、土曜日 / 時間：10時～12時 / 場所：検討中

対象者：子どもから高齢者まで全ての方

テーマ：多世代が交流できる場、子どもが一人でも参加できる場

内容：【定例】カフェスペースを作り、参加者に飲み物やお菓子を提供する。

月に1、2回、体操やレクリエーションなどのイベントを実施する。

運営：地域住民有志

### 集いの場を立ち上げるに当たっての課題

場所：近隣で探しているがなかなか見つからない。どこか借りられる場所はないか。

周知：チラシを作成し回覧する予定だが、広く周知を行いたい。他に手段はないか。

物品：運営資金が潤沢ではないため、飲食物を含め、提供又は借りられる物品があれば積極的に受け入れたい。

イベント：運営メンバーの仕事や特技を活用したイベント行う予定だが内容に限りがある。

様々な世代に、この場に興味を持ってもらえるよう、いろいろなイベントを開催したいが、協力いただける方はいないか。

### (※)資源のイメージ

- 企業等が既に展開しているサービスや商品
- 場所（店舗の一画、事務所の会議室等）
- 知的財産（〇〇に関するノウハウ等）
- 人材（〇〇の資格を持っている職員等）
- 備品・物品（貸出可能な機材、参加者に配ることができる景品・商品等）
- ネットワーク（団体広報紙への掲載、川崎市内にある支店を活用した広報等）

## 4 実施方法

### **会場グループ** (16:05~16:55/報告 16:55~)

当日、事務局がファシリテーター(進行役)、タイムキーパー、報告者を指定します。指定された方は、その役割をお願いします。ファシリテーターの方は、①~⑥の進行をお願いします。

- 16:05~
- 《前半》
- 16:10~
- 16:30
- (目安)
- ① 自己紹介(1人30秒程度): 名前、所属、好きな季節とその理由
- ② 個人ワーク(5分程度)で、集いの場を立ち上げるに当たっての課題(黄色の枠内)に対して、御自身の企業や団体が提供できる資源(=協力できること)を黄色の付箋に記入してください。1枚の付箋に1つの資源を簡潔に記入してください。
- ③ グループ内で1人2~3つずつ順番に発表し、対応する課題のカテゴリ(「場所」等)の枠内に付箋を貼ります。あわせて、その資源の概要を簡潔に説明してください。
- 《後半》
- 16:30~
- 16:55
- (目安)
- ④ 再度個人ワーク(5分程度)を行います。集いの場の概要(イメージ)(青い枠内)と模造紙に集まった資源を見て、御自身の企業等では提供が困難だが、これがあると地域住民有志が思い描く集いの場に近づくのではないかと、という資源を青い付箋に記入してください。②と同様に、1枚の付箋に1つの資源を簡潔に記入してください。
- ⑤ グループ内で1人1つずつ順番に発表し、対応する課題のカテゴリの枠内に付箋を貼ります。対応するカテゴリがないものについては、「その他」の枠内に貼ってください。あわせて、資源の概要とともに、その資源があるといいと考えた理由も簡潔に説明してください。
- ⑥ ⑤で出された資源について、グループ内の企業・団体が提供できる方がいる場合は、該当の付箋にシールを貼るとともに、その企業等は概要を説明してください。また、地域住民有志が思い描く集いの場に近づくために、⑤で出された資源について、どのようなところに協力を仰げばいいか、ファシリテーターを中心に意見交換を行います。
- 16:55~
- ⑦ 報告者から全体に向けて、模造紙に集まった資源や⑥の意見交換の結果について、抜粋の上、報告します。(各グループ2分)

### **オンライングループ** (16:05~16:55/報告 16:55~)

ファシリテーター(進行役兼タイムキーパー、報告者)を事前に指名させていただきました。ファシリテーターの方は、①~⑥の進行をお願いします。

- 16:05~
- 《前半》
- 16:10~
- 16:30
- (目安)
- ① 自己紹介(1人30秒程度): 名前、所属、好きな季節とその理由
- ② 個人ワーク(5分程度)で、集いの場を立ち上げるに当たっての課題(黄色の枠内)に対して、御自身の企業や団体が提供できる資源(=協力できること)を挙げます。
- ③ グループ内で1人2~3つずつ順番に発表します(書記は委託業者が務め、黄色い付箋状のメモに入力します。)。対応する課題のカテゴリ(「場所」等)と②で考えた資源、その資源の概要を簡潔に説明してください。
- 【発表例】「場所」に関する課題に対して〇〇を提供できます。〇〇は…(概要)。

《後半》  
16:30~  
16:55  
(目安)

④ 再度個人ワーク（5分程度）を行います。集いの場の概要（イメージ）（青い枠内）とスライドに集まった資源を見て、御自身の企業等では提供が困難だが、これがあると地域住民有志が思い描く集いの場に近づくのではないかと、という資源を挙げてください。

⑤ グループ内で1人1つずつ順番に発表します（書記は委託業者が務め、青い付箋状のメモに入力します。）。対応する課題のカテゴリと④で考えた資源、その資源があるといいと考えた理由を簡潔に説明してください。対応するカテゴリがないものについては、「その他」としてください。

【発表例】「その他」として〇〇があるといいと考えました。それは…（理由）。

⑥ ⑤で出された資源について、グループ内の企業・団体に提供できる方がいる場合は、該当のメモに●印を付けるとともに、その企業等は概要を説明してください。また、地域住民有志が思い描く集いの場に近づくために、⑤で出された資源について、どのようなところに協力を仰げばいいか、ファシリテーターを中心に意見交換を行います。

16:55~ ⑦ 報告者から全体に向けて、スライドに集まった資源や⑥の意見交換の結果について、抜粋の上、報告します。（各グループ2分）

※ 各グループにファシリテーター（進行役）の補佐として行政職員が同席します。

※ 各グループの発表後、座長の田中滋先生から講評をいただきます。

※ 各グループの意見や講評コメントは、後日報告書としてまとめます。グループディスカッションの感想や話しきれなかった意見等がありましたら、アンケートに記入してください。

## <イメージ>

### Zグループ 持っている資源を活用し、集いの場の立ち上げに協力しよう。

<b>場所</b> 事務局の会議室	<b>周知</b> 地域内店舗におけるポスターの掲示	<b>その他</b> 〇〇の販売
<b>物品</b> 子ども用の机とイス	<b>イベント</b> みんなでできる室内レクリエーション	

協力して取り組みたい企業の「業種」・  
団体の「活動内容」

〇〇関係団体、▲▲ができる業種

## <タイムテーブル>

時間		内容
15:30 ~	5分	開会・副市長挨拶、座長挨拶
15:35 ~ 15:45	10分	川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組
15:45 ~ 16:00	15分	地域包括ケアシステムに関する市内の活動紹介 (発表者) 株式会社いなげや 営業戦略部 事業開発グループ 小林 正人 様
16:00 ~ 16:05	5分	グループディスカッションの流れの説明 テーマ 「持っている資源を活用し、集いの場の立ち上げに協力しよう。」
16:05 ~ 16:10	5分	自己紹介 名前、所属、好きな季節とその理由(1人30秒程度)
16:10 ~ 16:55	45分	グループディスカッション ●個人ワーク①(5分程度) 集いの場を立ち上げるに当たり考えられるいくつかの課題に対して、御自身の企業や団体が提供できる資源を挙げます。 ●前半(15分程度) 1人2~3つずつ、資源を発表します。 ●個人ワーク②(5分程度) 集いの場の概要(イメージ)と前半の発表で集まった資源を見て、集いの場のイメージに近づけるために、あるといいと考える資源を挙げます。 ●後半(20分程度) 1人1つずつ、資源を発表します。追加で挙げられた資源について、グループ内の企業・団体が提供できる方がいた場合は印を付けてください。また、追加で挙げられた資源を基に、どのような業種の企業・どのような活動をしている団体に協力を仰げばいいかを考えます。
16:55 ~ 17:20	25分	報告 集まった資源等について、報告してください。(各グループ2分)
17:20 ~ 17:25	5分	講評 座長の田中滋先生から講評をいただきます。
17:25 ~	5分	閉会・市長挨拶

